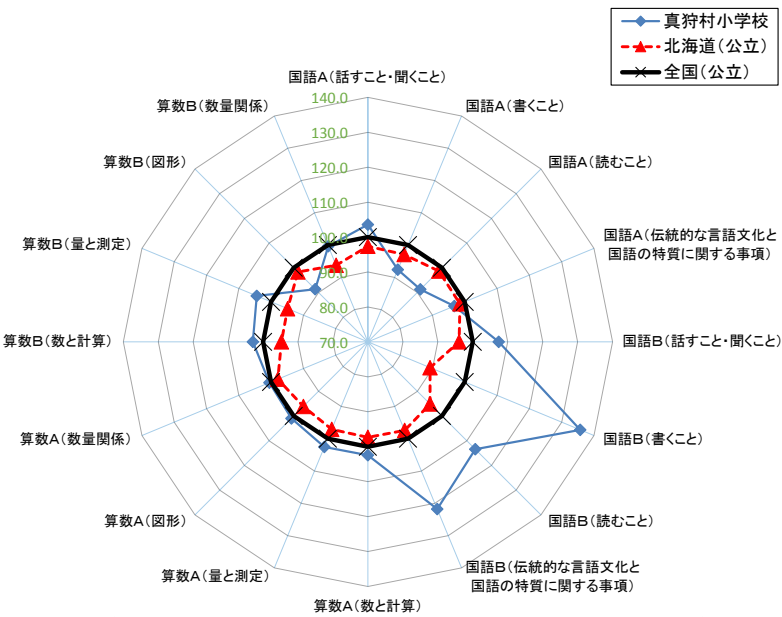


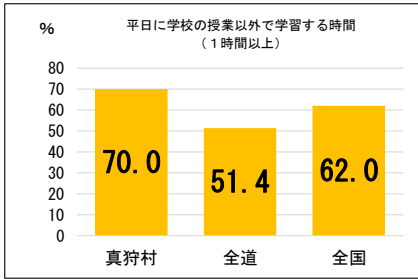
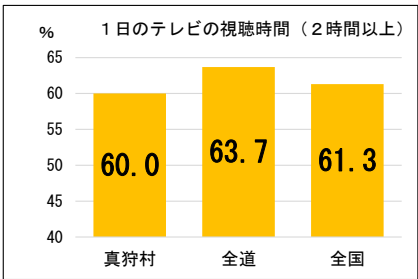
# ■ 真狩村内小学校の状況及び学力向上策 (学校数: 2校、児童数: 20名)

## 【教科全体の状況】

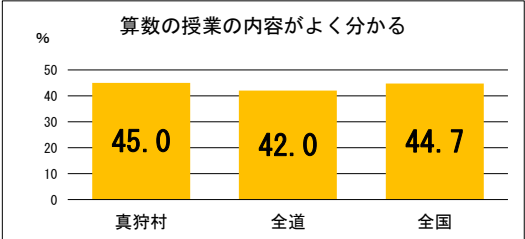
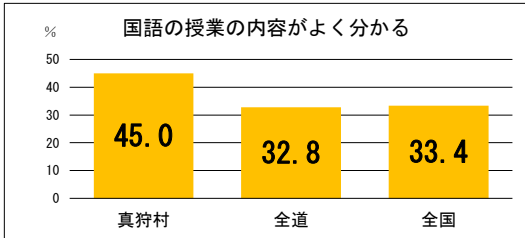
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの  
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



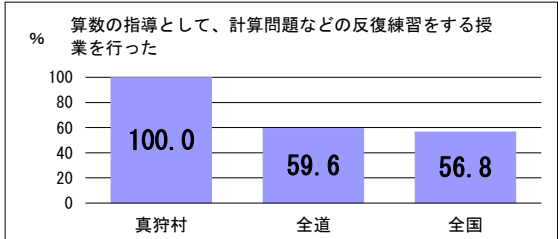
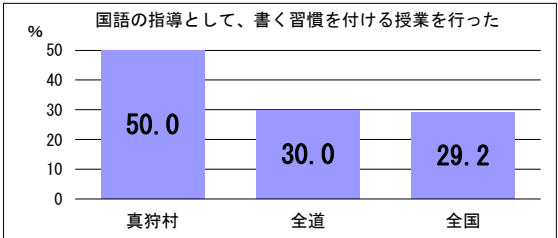
## 【児童質問紙調査】



## 【児童質問紙調査】



## 【学校質問紙調査】



## 【分析】

教科	○ 国語Bで、全国を上回っている。特に、「書くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」では大きく上回っている。算数A・Bともに平均正答率で全国、全道を上回っている。	○ 算数で反復練習をよく行い、基礎的・基本的な事項の定着を図ったことにより、算数A・Bで全国を上回ったと考えられる。
児童質問紙	○ 国語、算数ともに「授業内容がよく分かる」と回答した児童の割合が全国、全道より高い。	○ 国語の指導として、書く習慣を付ける授業に積極的に取り組んだことにより、自分の考えを書いて説明する力が付き、国語Bで全国を上回っていると考えられる。
学校質問紙	○ 国語の指導として、書く習慣を付ける授業を行った学校の割合が全国、全道より高い。 ○ 計算問題などの反復練習をする授業を行った学校の割合が全国、全道より高い。	○ テレビの視聴時間が短く、平日に1時間以上学習している児童が多いことが、授業内容がよく分かる」と回答した児童の割合の高さにつながっていると考えられる。

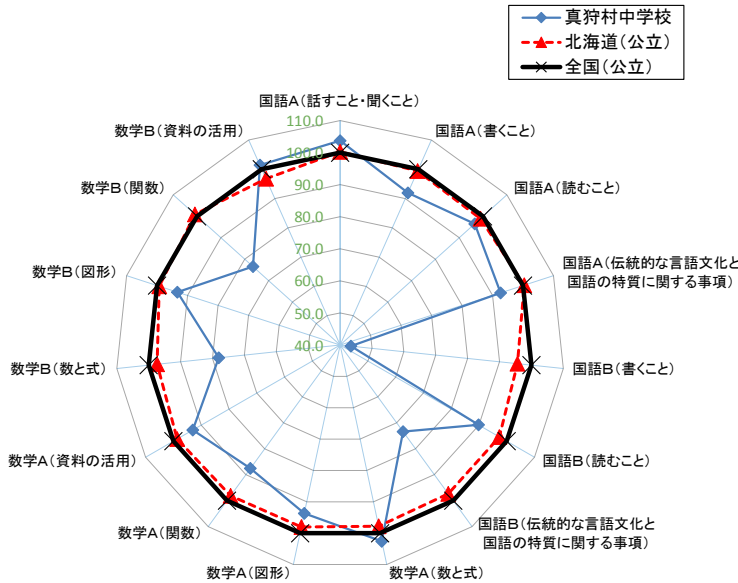
## 【真狩村の学力向上策】

- ◎ 計算や漢字等の反復練習の徹底による基礎・基本の定着
- ◎ 「家庭学習の手引」の活用による家庭学習の習慣化
- ◎ 授業の中で自分の考えや意見を発表できる時間の確保
- ◎ 村公民館図書室との連携による学校図書の充実

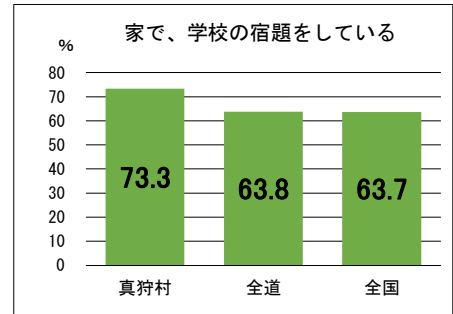
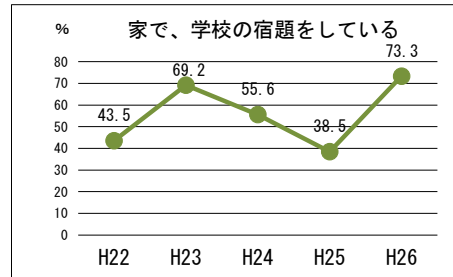
■ 真狩村内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、生徒数:15名)

【教科全体の状況】

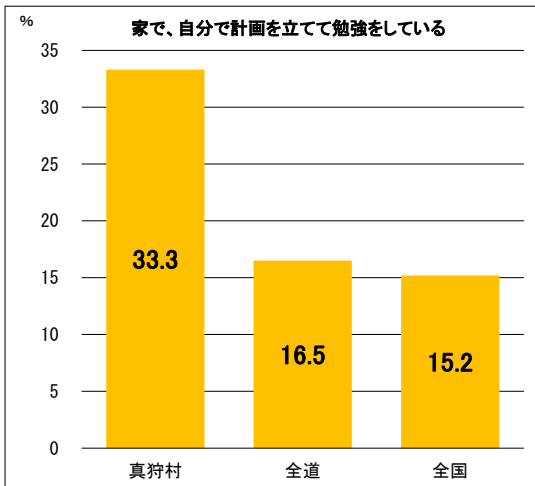
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの  
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



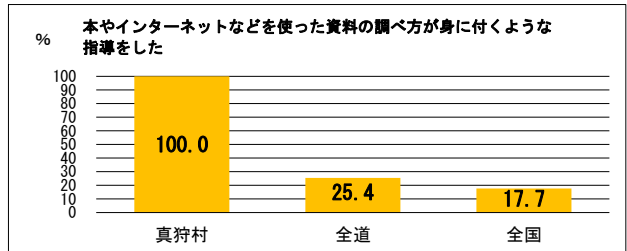
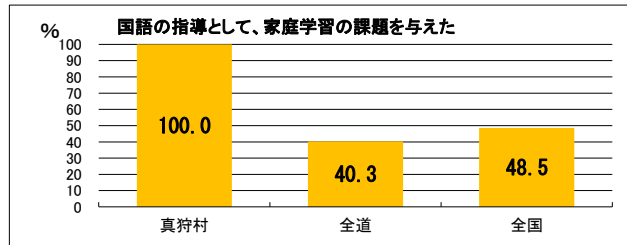
【生徒質問紙調査】



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国語Aでは、「話すこと・聞くこと」の平均正答率で全国を上回っている。</li> <li>○ 数学Aの「数と式」、数学Bの「資料の活用」で全国の平均正答率を上回っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 家庭学習の課題を与え、その評価や指導の充実を図ることにより、自分で計画を立てて家庭学習に取り組む生徒が増えるとともに、家で学校の宿題をしている生徒の割合が増えていると考えられる。</li> </ul>
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 家で計画を立てて勉強する生徒の割合や家で学校の宿題をしている生徒の割合が全国、全道より高い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本やインターネットを活用して、情報の収集や整理等、調べる活動を充実させたことにより、数学B「資料の活用」の平均正答率が高くなっていると考えられる。</li> </ul>
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国語の指導として、家庭学習の課題を与えている。</li> <li>○ 本やインターネットなどを使った資料の調べ方が身に付くような指導をよく行っている。</li> </ul>	

【真狩村の学力向上策】

- ◎ 計算や漢字等の反復練習の徹底による基礎・基本の定着
- ◎ 「家庭学習課題」の活用による家庭学習の習慣化
- ◎ 村公民館図書室との連携による学校図書の充実